

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		女性団体支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政 策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部 教育委員会事務局 所属課 生涯学習課 所属班 生涯学習班 法令根拠	課長名 高木 敏明 担当者名 甲斐 朝子 (内線) 1504
	施 策	14	市民参画によるまちづくりの推進					
	基本事業	39	地域づくり(まちづくり)人材の育成					
予算科目		会計 1	款 10	項 5	目 1	事業連番 10324	☐ 20年度で終了 ☐ 21年度から開始	成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 6*8
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 地域婦人会への補助金の交付 【業務の流れ】 地域婦人会長から補助金交付申請書を受理する。申請書審査後、交付決定となれば交付決定書を発行して婦人会長からの請求を受け、補助金を交付する。 【主な予算費目】 負担金補助及び交付金								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 合志市地域婦人会(会員数200名)に対して344,000円の助成金を交付。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 助成金の額 円 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 地域婦人会	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 地域婦人会の会員数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 地域婦人会の活動を活発に行ってもらう。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 婦人会会員数 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) まちづくりに参加する女性が増える。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 地域リーダー数 人 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							(期間 限定複数年度のみ記載) 総トータルコスト	
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
		一般財源	千円	344	344	344	344	344	344	344		
	人件費	(A)事業費計	千円	344	344	344	344	344	344	344		0
		うち指定経費	千円									
		うち時間外、特殊勤務手当	千円									
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間										
	(B)人件費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	344	344	344	344	344	344	344	0		
活動指標			ア イ	円	344,000	344,000	344,000	344,000	344,000	344,000	目標 総合計 数値 画 22 年度	
対象指標			ア イ	人	230	225	220	220	210	210		
成果指標			ア イ	人	未集計	未集計	600	657	600	600		
上位成果指標			ア イ	人	未把握	30	35	17	38	40		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
女性団体の活動支援を目的に昭和33年に旧合志町地域において婦人会が発足した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
地域婦人会に参加する女性は減少してきており、旧西合志町はすでに団体としては解散しており、現在の会員は旧合志町の女性が大部分である。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
旧西合志町にもかつての婦人会に属していた女性は多いので、再び女性団体に加入して再出発できるよう求める意見が議員から出ている。

事務事業名	女性団体支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE)＊原則は20年度の後評価、ただし複数年事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 団体への支援を通じて、積極的にまちづくりに関わってもらうことで、政策に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 まちづくりにはいろいろな地域や年齢の住民による協力が必要で、広域的な女性の団体に助成し、まちづくりに関わってもらうことは大きな力となるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 適切である ⇒【理由】 現在は旧合志町の女性による団体であるが、旧西合志町にも同様の団体が出来ようであれば、対象となる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 女性団体の構成員が減少しつつあるため、より広域に、より多くの会員確保への団体伸長を図ってもらいたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ☒ 影響有 ⇒【その内容】 まちづくりの大きなマンパワーを減退させ、団体の存続を脅かすことになる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 積極的な活動を行っている団体なので、代替できる余地はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 団体等への助成金は、市全体での見直しが必要であり、それに伴い金額が削減されることもありうる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 地域婦人会は、会員のまちづくりへの意識が高く、市助成を受け積極的に活動しているので、公正さは保たれている

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、適切である。 ③効率性については、向上の余地がある。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
						コスト																		
				削減	維持	増加																		
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)																								
☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	1	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2)貢献度	1	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)